

JSA神奈川支部通信

No. 11 November 2021 日本科学者会議 神奈川支部 発行

事務局長：〒247-0008 横浜市栄区本郷台 2-12-2 後藤仁敏

TEL・Fax : 045-894-1052、携帯 090-7175-1911、E-mail : goto(at)kd5.so-net.ne.jp

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 郵便振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議 神奈川支部

この号の見出し

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| ◆ 第21回東京科学シンポジウム「コロナ危機の時代を生きる」のお知らせ | 事務局長 佐久間英俊 |
| ◆ 第57期第2回関東甲信越地区会議の報告 | 中野貞彦 |
| ◆ 『市民連合衆議院選挙 ガイドブック』の紹介と Q&A | 神奈川民間懇 北山宏之 |
| ◆ 神奈川4区市民連合が「衆議院選を勝利する市民集会」を開催 | 後藤仁敏 |
| ◆ JSA神奈川支部前事務局長・鈴木勝久会員を偲んで | 後藤仁敏 |
| ◆ 鈴木勝久会員を偲んで | 惣田昱夫 |
| ◆ 池内了講演会「コロナ禍と戦争—今、人類の英知が試される」 | 後藤仁敏 |

第21回東京科学シンポジウム「コロナ危機の時代を生きる」のお知らせ

実行委員会事務局長 佐久間英俊

7月10日に発行した1stサーキュラーで、私たちは今回の東京科学シンポジウムのメインテーマを「コロナ危機の時代を生きる—科学・人権・市民的連帶」とし、11月末にオンラインで開催することを決めて、分科会の開設を呼びかけました。その後の2か月間を振り返ると、日本政府はオリンピック・パラリンピックを強行開催し、コロナ危機を深刻化させました。感染症はさらに広がり、新規感染者数は最高記録を日々更新しています。人の命より経済効果やIOCとの関係を重視した失政は、誰の目にも明らかになりました。お隣の神奈川県では首相が肝入りで応援した候補が落選しましたが、コロナ対策の失敗も一因と言われています。こうした情勢は、今回のシンポジウムのテーマが日本と世界が直面している時代の要請に合致していることを示していると思います。

1stサーキュラーの分科会開設の呼びかけに応えて17件の応募があり、開設されました。また特別報告では、コロナ危機の実態報告とジェンダー平等問題という2つのテーマを選び、いま準備を進めています。オンライン開催は交流不足やITトラブルの可能性などの弱点もありますが、逆に、自宅等から気軽に参加できる、開催費用が安く済み参加費や交通費もかからないなどの利点もあります。IT操作は苦手だという会員もおられるでしょうが、やってみると案外簡単なものです。これを機会に挑戦してみてください。私たち実行委員会がサポートします。

この2ndサーキュラーでは、分科会の発表者を募集します。多くの会員が臆することなく分科会発表に応募され、問題意識や日頃の研究の成果、運動などの取り組みを披露いただきますようお願いします。また私たちはこのシンポジウムを市民とともに成功させたいと考えています。非会員の参加も歓迎しますので、お近くの市民も誘ってご参加ください。

第21回東京科学シンポジウム テーマ：コロナ危機の時代を生きる—科学・人権・市民的連帶

日時：11月27日（土）～11月28日（日） 開催方式：オンライン（zoomを使用）

主催：日本科学者会議東京支部

特別報告：27日午後 1. 稲葉剛さん（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事・認定NPO法人ビッグイシュー基金共同代表・立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科客員教授）「コロナ禍における生活困窮者支援の現場から」、2. 依頼中

分科会：27日午前、28日午前・午後 1. 日本におけるコロナ禍の現状と課題 設置責任者：米田貢（中央大学分会）、2. 改憲発議阻止の課題を考えよう—新型コロナウイルス・日本パンデミックと改憲発議策略— 設置責任者：金子勝（立正大学分会）、中野貞彦（武藏野通研分

会）、3. 平和研究の現在 設置責任者：真嶋麻子（個人会員）、4. コロナ禍における大学院生の研究と生活 設置責任者：吉村さくら（中央大学院生分会）、峰尾菜生子（中央大学院生分会）、5. コロナ禍の女性の困難を探る（仮） 設置責任者：中島明子（J分会）、姉歯曉（駒沢分会）、6. リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流（part5） 設置責任者：長田好弘（武蔵野通研分会）、中野貞彦（武蔵野通研分会）、橋本良仁（高尾分会）、7. 科学技術の現状批判－日本の科学・技術の健全な発展のための課題part13 設置責任者：長田好弘（武蔵野通研分会）、久志本俊弘（大阪支部）、矢作英夫（武蔵野通研分会）、8. 科学・技術サロン－日本の科学・技術の現状とロマンを語るpart14 設置責任者：長田好弘（武蔵野通研分会）、松永光司（武蔵野通研分会）、9. 任命拒否問題の今－学術会議と科学者コミュニティ－ 設置責任者：井原聰（個人会員）、10. コロナ危機下における高等教育・研究を考える 設置責任者：佐久間英俊（中央大学分会）、11. 非正規教職員の労働運動のこれからを展望して 設置責任者：衣川清子（個人会員）、12. 文学はパンデミックをどう描いてきたか－内外の文学作品鑑賞の交流会 設置責任者：風見梢太郎（武蔵野通研分会）、13. 自然科学の進展を俯瞰するⅡ 設置責任者：青木和光（国立天文台分会）、14. 資本主義を改革する経済政策 設置責任者：村上研一（中央大学分会）、15. 日本の食と農を考える 設置責任者：西村一郎（個人会員）、16. コロナ危機と労働問題 設置責任者：黒田兼一（明治大学分会）、米田貢（中央大学分会）、17. あたらしい時代のJSA支部活動 設置責任者：森原康仁（個人会員、専修大学）

連絡先：日本科学者会議東京支部第21回東京科学シンポジウム実行委員会（〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階 Tel/Fax : 03-3811-8281、e-mail : 21st-kagaku(at)jsa-tokyo.jp

第57期第2回関東甲信越地区会議の報告

東京支部 中野貞彦

日時：2021年10月7日（木）19:00～20:40 Zoomによる会議

1. 地区会議メンバー：支部事務局長：小滝豊美（茨城）、萩原明信（栃木）、永田瞬（群馬）、丹生淳郷（埼玉）、東崎健一（千葉）、佐久間英俊（東京）、後藤仁敏※（神奈川、全国幹事）、矢田俊文（新潟）、竹内智（山梨）、三木敦朗※（長野、社会的活動部長） 10人

地区推薦全国幹事：上記※に加えて、葛谷泰憲（院生）、多羅尾光徳（東京支部、学術体制部長）、山崎誠（千葉、組織部長）、中野貞彦（東京） 4人

2. 参加：飯岡宏之（後藤仁敏代理）、永田瞬、丹生淳郷、東崎健一、佐久間英俊、矢田俊文、葛谷泰憲、多羅尾光徳、中野貞彦 9人

3. 全国事務局からの報告（多羅尾）

・学術会議任命拒否問題についての署名、JSAが呼びかけ私大教連と全大教の三者で取り組む予定のところ、合意がえられる前にJSAで公開し、まだ合意前との申し入れがあり、釈明した。近く合意が得られる予定、合意がえられなくてもJSAとしては取り組む。

・岸田首相が、経済安全保障をうち出した。総選挙後に一括法案をだすつもり、特許は認めるが非公開にするなどが含まれる。

・事務局会議で会員拡大を議論、5人入会。

4. 各支部の状況

・飯岡（神奈川）：長年事務局長を努めた方が2月に逝去。横浜市長選挙でIR反対の候補が当選。幹事会は5人、会員2人増。コロナ問題で申し入れ（市、県）をし、各会派に要請を行っている。

・永田（群馬）：10月28日に秋期セミナー（zoom）を行う。「群馬県における多文化共生・共創社会の実現に向けて～データと当事者の視点から考える～」(<http://jsa-gunma.blogspot.com/>)。学術会議会員任命拒否の問題で、毎日新聞に代表幹事が取材をうけた。「日本科学者会議群馬支部代

表幹事の山田博文・群馬大名誉教授（経済学）は「非常に残念。安倍晋三、菅義偉両政権で続いた反科学、反知性を基本的に継承するのだろうか」と語り、岸田首相の「聞く力」に懐疑的な目を向ける。」（「毎日」10/5, 21面）→4ページに貼り付けています。朝鮮人労働者の追悼碑訴訟で不当判決が一審判決が出た。この問題に関わっており、『日本の科学者』編集長から記事依頼があり、近く掲載される。

・丹生（埼玉）：6月に支部大会、7月から新体制、毎月幹事会を開催、幹事の交流は深まるが会員との交流ができていない。そこでオンライン勉強会を計画し、オンラインできるかどうかの調査をしたところ、1/3がそういう環境ないことがわかった。しかし9/18に試みにやってみた。福島原発事故10年の問題で講師・コーディネーターに教師の幹事に依頼、会員6人、会員外7人の13人が参加、福島からも参加、多方面からの参加が得られた。「埼玉支部つうしん」を5回以上は出そうと計画、今月2回目を出す。

・コロナが終息したら、フィールドワークを復活する、今まで年2回行っていた。埼玉県の河川の防災について、県の土木課の人に依頼予定。会員の高齢化と減小が悩み、現役の会員が少ない。私自身77歳で17年間事務局長をやっている。代表幹事を60歳前半の方に交代できた。若手の入会を！

・佐久間（東京）：10年前より会員が15%減少、高齢化がすすんでいる。6割が個人会員、フィールドワークがコロナ禍で中断、地域分会、研究会も中断。コロナ問題の連続学習会をオンラインで3回（医療現場の医師、スウェーデン滞在の会員、住宅問題）行い、10/23に第4回を行う（「コロナ禍のもと、共に教育問題を考えましょう」講師は元東京都教職員組合委員長）。全労連の方と最賃1500円を目指す研究会を立ち上げ（“労研”と略称）、12/18にシンポジウムを行う。支部つうしんを毎月、個人会員ニュースを3カ月毎、女性会員のニュースを年3、4回発行している。大学分会の活動が途絶えている。武藏野通研分会はオンラインの分会例会を行い、毎月機関誌を発行している。第21回東京科学シンポジウムをオンラインで11月27、28日（土、日）に行う。特別報告が2つ、分科会が17、3rd Circularを11月10日に発行する。ぜひ参加をお願いしたい（支部ホームページ <http://jsa-tokyo.jp/>）会員拡大に利用する目的で支部独自のリーフレットを更新作成中です。性的マイノリティの方の人権について憲章的なものを作り、相談窓口も設けるよう検討している。

・東崎（千葉）：非会員だが、9月末5年任期の雇い止めをされた方が1名いる。10年以上千葉大で学生の24時間の相談窓口をしてきた専門家、現在組合として学長交渉を要求しており、非常勤組合も動いている。JSAとして個人的に相談を受けている。もう一人解雇がおきている。産業博物館に、CO₂削減の問題に関連した展示を行うよう申し入れている。

・矢田（新潟）：支部としての取り組みはないが、農学部の組合と一緒に学習会を行った。

・葛谷：8/8に修論道場を行った（オンライン）。M2の夏に報告・議論し、春にまた報告をする。今回15名が参加、3人が方向をした。終わってからオンラインの飲み会、一人が入会してくれた。コロナでコミュニケーションがなかなかできないので、良い交流ができた。討論で、春の修論道場の案内を、関東甲信越の支部に連絡し、修士や学生に伝えてもらうようにすることになった。

5. 地区シンポジウム

・テーマとして「コロナ禍のもとでの大学教育」という案が前回出されたので、中野が、コロナ禍のもとでの教育（大学だけでなく）の問題がJSAの支部や全国のシンポ、「日本の科学者」、支部つうしんなどをもとに作成した資料を示して議論をした。

・様々な取り組みが行われており、地区としてどう取り組むか？

・地区シンポジウムは、やはり地区に根ざした問題を取り上げるのがよいのでは？

・デジタル庁ができ、自治体のシステムが管轄下におかれ、また個人情報保護が危ぶまれる。自治体の問題としてテーマにしたらどうか？

・雇用関係、フードバンクなど聞いてみたい。

・横浜市は保健所が1つ、実態がどうなっているのか？また横浜市には災害・水害問題もある。

・地域の問題とすれば、関東地域では乱開発、災害、洪水、液状化、地方の再生の問題、オリンピックの検証・総括が必要、・・・などなど。

・群馬など地方の大学生や教員に響くような中味のものを着たいしたい。
→三木さん、永田さん、中野の3人でzoomで話し、「コロナ禍のもとでの大学教育」をテーマにアイデアを検討することとした。案がまとまれば、地区会議で検討する。地区シンポは、2022年3月までをめどに行う（オンライン）。三木さん、よろしくお願ひします。

6. その他

- ・予定より少し早く終わり、小滝さん入られたようで、すいません。
- ・学術会議が主催するフォーラムなど一覧を送る（過去のもので資料がダウンロードできる）中野
- ・視聴できます！ 必見！（1時間50分）

10/2 学問と表現の自由を守る会主催・第1回ライブ&オンライン座談会 あれから1年、私たちの自由は？そして社会は？—日本学術会議問題とその後— 佐藤学、加藤陽子、田中優子、広渡清吾、温又柔

<https://www.youtube.com/watch?v=chpPvWCNvg0>

『市民連合 衆議院選挙2021ガイドブック』の紹介とQ&A

神奈川民間懇 北山宏之

明日が衆議院解散という時期にこの記事を書いている。これが発行される頃にはどんな総選挙の結果が出ているか楽しみである。最近、「市民連合 衆議院選挙2021ガイドブック」がパンフレット（全23ページ）になって手元に届いた。次のURLでも見られる。

[shiminrengo-senkyo2021guidebook-02.pdf](#)

私も参加している16区市民連合（厚木、相模原、伊勢原、愛川町など）主催で、このテキストを使用して横浜合同法律事務所の弁護士の高橋由美さんを講師にZoomで解説もしていただき、その後Q&Aを行なった。

公職選挙法では、選挙運動と政治活動を次のように区別している。（15ページ）

選挙運動とは、公示日当日から投票日前日までの期間のみできるもので、

- ① 特定の選挙について
 - ② 特定の候補者の当選をはかるために
 - ③ 不特定多数の選挙人に働きかける行為
- の3つの要件を「同時に」満たしているものをいう。

一方、政治活動・市民運動とは、

上記3つのうち、1つでも欠ければ選挙運動にはあたりません！

たとえば、友人・知人や家族に候補者への投票を依頼するのは「不特定多数」ではないので{選挙運動}にはあたらない。

要するに、選挙運動の3要件がそろっているもの以外は、すべて公職選挙法による規制の対象外である。政治活動や市民運動は憲法で保障された自由な活動なので、選挙前でも選挙中でもOKである。

Q&Aのやり取りは次の通り。4年前の総選挙時の市民連合の駅頭での宣伝は、投票に行こう、というだけのさみしい感じだったが、今度の選挙では野党連合政権をめざしましょう！と語っても、プラカードに書いてもOK。個々の政党に投票して！はダメだけど、立憲野党に投票して下さい、応援して下さい！はOKとなる。特定の政党・候補者ではないからというのがその理由で、要するに駅前などで宣伝する場合②の要件に該当しないよう注意して、BGMでも流しながら楽しい選挙を！という弁護士からの提案があった。ぜひ実行に移すべく模索中である。



神奈川 4 区市民連合が「衆議院選を勝利する市民集会」を開催

後藤仁敏

山口二郎さんが基調講演

衆議院選挙が 10 月か 11 月には実施されようという情勢のもと、2021 年 9 月 25 日の夜、神奈川 4 区市民連合が「衆議院選を勝利する 4 区市民集会」を鎌倉生涯学習センターホールで開催し、80 名の参加者が集まりました。

はじめに、共同代表の私が「3 つの国政選挙と横浜市長選で敗北し、菅首相は辞任に追い込まれました。しかし、自民党は総裁選でマスコミを自党の宣伝機関化し、なんとか総選挙での敗北をまぬがれようとしています。4 区は 5 人も候補が名のりをあげ、厳しい状況です。早稲田さんの再選を勝ち取るには何よりも市民と立憲野党の本気の共同が必要です」と訴えました。

続いて、市民連合運営委員の山口二郎さん（法政大学教授）が「安倍・菅政治との決別－新たな社会民主主義的合意へ」との基調講演をしました（図 1）。山口さんは「米国のバイデン大統領は国内では労働者のための政策を進めている。しかし、日本の安倍・菅政治は、説明責任を拒絶し、学術会議への介入など独裁者風の権力行使を対し、市民と立憲野党の共闘が進み、9 月 8 日には 4 野党が市民連合の共通政策に合意した。自公に習って野党も民主主義の回復という大義を掲げ、政党ブロックを形成し、自公を過半数割れに追い込み、政策合意をもとに連立政権を構築しよう」と語りました。

早稲田ゆきさんの報告と各党からの連帯挨拶

衆議院議員の早稲田ゆきさんは以下のような国政報告をしました（図 2, 3）。「安倍・菅政権の 9 年間、ウソと隠ぺい、政治の私物化が進められた。自公政権はコロナ対策に失敗し、国民の命を軽んじている。感染爆発で医療崩壊を起こし、国民に「自助」を強要し、自宅療養で助けられるはずの多くの人を見殺しにした。国民の命と暮らしを守るために、頑張りたい。市民連合の方々、他の野党の皆さんと一緒にたたかい、必ず勝利します」。

次いで、日本共産党南関東比例予定候補者の沼上とくみつさん（図 4）が、「安倍・菅政権下でも野党が共同して検察庁法案、入管法改定案を成立させなかっただけでなく、憲法も変えさせなかった。共産党は市民と野党の共同のために奮闘したい」と連帯挨拶しました。

社会民主党神奈川 15 区予定候補の佐々木克己さん（図 5）は「自民党はその改憲草案で憲法 53 条を要求のあった日から 20 日以内に開催しなければならない、としているのに、与党になつたら、野党の開催要求を 3 カ月も無視している。相手は総理大臣かもしれないが、15 区の野党候補者として頑張りたい」と述べました。



図 1 講演する山口二郎さん



図 2 国政報告する早稲田ゆきさん



図 3 国政報告する早稲田ゆきさん



図 4 挨拶する沼上とくみつ予定候補



図 5 挨拶する佐々木克己予定候補

神奈川ネットワーク運動・鎌倉代表で鎌倉市議の保坂れい子さん（図6）は、「新自由主義の自公政権を変えましょう。私たちは信頼できる早稲田さんを推薦し、皆さんと共に戦います」と連帯挨拶しました。

新社会党県本部委員長の手塚賢一さん（図7）は「野党はそれぞれの違いを認めあって、対等の立場で共闘することが大切です。私たちも皆さんと一緒に闘います」と連帯挨拶しました。

緑の党グリーンズジャパンの石崎大望さん（図8）は「横浜市長選では共闘で信頼をつくった。衆議院選挙でも勝つために全力で取り組みたい」と挨拶しました。

れいわ新選組からは、山本太郎代表の秘書からのメールが代読され、同党の支持者の参加者が紹介されました。

集会アピールの採択と団結頑張ろう！

その後、共同代表の上田義男さんから集会アピール「野党共闘で自公政権から国民のための政治を取りもどそう！」が提案され、大きな拍手で採択されました。アピールでは「ここ神奈川4区では、神奈川18選挙区中最も多い5人が立候補を予定し、まさに激戦となっています。2017年の衆議院選で、立憲野党の共同候補を実現し、早稲田ゆきさんを勝利させたことは4区市民の誇りです。私たちは何としてもこの貴重な議席を失う訳にはいきません。私たちは、全力を尽くして唯一の立憲野党の候補者である早稲田ゆきさんを応援し、多くの4区市民に早稲田候補の勝利のためにできることをすべて行うよう強く訴えます。あわせて立憲野党に対し、全国すべての小選挙区で共闘体制を実現し、連立政権樹立に向けて政権構想を構築することを望みます」と呼びかけました。

最後に、小堀諭事務局長から閉会の挨拶とカンパの訴えがあり、野口康司さんの音頭で、団結頑張ろうが行われ、閉会となりました（図8）。

講演いただいた山口二郎さん、国政報告された早稲田ゆきさん、連帯挨拶いただいた沼上とくみつさん、佐々木克己さん、保坂れい子さん、手塚賢一さん、石崎大望さんに深く感謝します。また、集会を支えてくださったスタッフの皆さん、ご参加いただいたすべての皆さんに厚くお礼を申しあげます。

皆様から、会場で46,200円、払込で27,341円、計73,542円のカンパをいただきました。会の活動のため、使用させていただきたいと思います。こころよりお礼を申しあげます。



図6 挨拶する保坂れい子市議



図7 挨拶する手塚賢一さん



図8 連帯挨拶する石崎大望さん



図9 参加者全員での団結頑張ろう！

JSA 神奈川支部前事務局長・鈴木勝久会員を偲んで

後藤仁敏

私がJSA神奈川支部の活動に参加したころは、代表幹事の今野宏さんと松川康夫さん、事務局長の秋葉繁夫さんを中心に10名ほどの幹事で運営していたように記憶している。その後、事務局長は西岡啓二さん、塩谷光さんと代わり、西岡さんが山形に転居され、塩谷さんが病気になり、会計

担当であった片山知史さんが仙台に行かれるなどの事情で、鈴木勝久さんが事務局長と会計を兼任するようになり、高齢化とともに新しいメンバーの補充もなく、メンバーが徐々に減って、神奈川支部幹事会はほとんど鈴木さんと私の二人で行うようになってしまった。

それでも、私は支部通信の担当だけおこない、支部の運営のほとんどは鈴木さんに任せきりであった。ところが、鈴木さんが病気になられ、やむなく私が代理をせざるを得なくなってしまった。折よく、惣田昱夫さんが参加されるようになり、秋葉さんが一人で郵便局に運んでいた発送作業をみんなで分担して行うようになっていたのを、惣田さんが救世主のように車で運んでくださるようになり、たいへん助かった。現在は飯岡宏之さんが引き継いでくださっている。

私は、いずれ鈴木さんが元気になり、事務局長に復帰されると思い、事務局長にはなったが、会計まではできないと惣田さんにお願いしたら、こころよく引き受けてくださった。しかし、かなりの会費滞納者があり、惣田さんにはその整理に苦労をかけることになってしまった。一方、支部の現状を訴えると、ありがたいことに少しずつ幹事会への参加者もふえ、なんとか支部崩壊は免れることができた。

鈴木さんは地球物理学が専門で、地質学専攻であった私と専門も近く、国大には多くの知り合いもいて、親しみは感じていた。東大理学部地球物理学教室の出身で、東大助手、南カリフォルニア大学准教授も勤められ、ロケットや人工衛星に搭載した観測機を用いて、大気の分光観測をされてきたという。

私は、国大の大学の先輩の依頼で、サメの歯を卒論に選んだ国大教育学部の学生の指導に関わったこともあった。2015年年の安保法制反対運動の時には、二人で国会前の集会に参加したこともあった。

私の次女が山梨で野菜づくりを始めた時は、鈴木さんは野菜の宅配を宣伝したら応じてくれ、長野県に旅行した際に奥様と二人で山梨の娘の家を訪ねてくださったこと也有った。鈴木さんは目黒区の駒沢に住んでおられたので、JSAの定期大会が駒沢大学で開催される時は、参加していただくのに便利だった。

国大退職後、放送大学で物質環境科学の講座を担当されているのを見たこともあった。鈴木さんにテレビを見たと報告したら、「そんなものは見ないで」と言われてしまった。

鈴木さんは、2019年ごろから体調をくずされ、支部幹事会にも参加されないようになった。しかし、その後回復に向かわれ、支部通信の2020年12月号に、「日本学術会議会員の任命拒否に思う」である。寺田寅彦とノルウェーの科学者との交流を紹介し、「戦時中は軍事機密のため天気図は一般に公表されず、台風接近時適切な避難行動がとれず多数の人命が失われた。最近の若手研究者には軍学共同についてあまり抵抗を感じていないように思われる。今日改めて軍事研究に協力しない行動が求められる」と書いている。最後の投稿は、今年の3月号に「東京外環道工事現場の見学」である。昨年12月の共産党の里吉都議会議員の事務所が主催したウォッチングに参加した様子を写真4枚を付けて「このように数々の問題がある建設工事は中止すべきである」と報告している。鈴木さんらしい科学者としての立場からの言葉であった。

そのうち元気な姿を見せてくれ、事務局長に復帰されるもの信じていたが、9月10日に亡くなったとの連絡を池島祥文会員から受け取った時はショックであった。享年は76歳の若さであった。私はしかし、奥様から電話をいただき、鈴木さんの想い出を語った後、最期まで奥様やお嬢様としっかり話をされていたと伺い、心安らぐ思いがしたことを報告する。

永年にわたって支部会員として活躍された方も、退職とともに退会される方もおられる。しかし、鈴木さんは退職後も支部の中心メンバーとして活動し続けられた。私どもも、鈴木さんの遺志を継いで、微力ながらJSAと神奈川支部のために活動を続けたいと思う次第である。



鈴木勝久さんを偲んで

惣田 显夫

鈴木さんとの初めての出会いは、横浜国立大学で行われた世界のシンポジウムでした。なれない私を親切に会場にご案内いただきました。その時は鈴木さんであることは知りませんでした。

私は大学を定年退職3年目ごろに神奈川の科学者会議に参加するようになりました。その時の事務局長は西岡啓二さんで、夏の暑いときは会議室のあるビルの隣の沖縄のお店でビールを買い暑さを抑えて参加しましたが、このとき鈴木さんは会計をされていました。会報の発送作業と一緒にいたその時、会計を忙しくされていたことが思い出されます。

西岡さんが退職と同時に転居で神奈川を離れることになりました。鈴木さん人材不足の折大変でしたが、事務局長と会計を引き受けさせていただきました。その時私が会計を引き受け入れればとは思いますが、まだ神奈川のことや科学者会議のことがよくわからていなかつたため、引き受けられませんでした。鈴木さん事務局長と会計を引き受けさせていただきました。ご苦労が多かったです。私もできるだけお手伝いをと冊子の搬送を引き受けた次第です。

ご病気になられ、回復されたようにお見受けし、安心していましたが、昨年再度悪くなられたこともあります。私が会計を、事務局長をお忙しい後藤仁敏さんに引き受けさせていただき事務局体制を構成しました。

私も会の会計は初めてで、長い間会議と作業に参加してもあまり気に留めていないこともあり会計を引き受けるにあたり大変混乱をいたしました。会計を引き受ける際ご病気でおいででしたので鈴木宅にお伺いして引継ぎを行いました。新型コロナの折大変気を使いながらの引き継ぎでした。引継ぎ後私の不注意からいくつかの問題が出ましたが、引継ぎ時は優しく丁寧に説明していただきました。また奥様には時期的にはまだ珍しいスイカを出していただき食しました。おいしかったです。その後鈴木さんから時々不足の点や多方面からの連絡等がありその都度メールでご連絡していました。会計の仕事は多岐にわたりますので、整理をしながらご苦労だったろうと思った次第です。

今年の4月に会費納入の苦情の手紙が来たこと、その対処をお願いします。などメールをいただきお元気になられているものと思っていました。この6月で私が会計を降りたことを伝えお借りしていた印鑑をお返しした時、着いたとの返事とご苦労様との言葉をいただきました。このメールが私との連絡の最後となってしまいました。まだお元気でしたのに訃報の知らせが来てびっくりしました。

長い間神奈川の科学者会議のため奮闘いただいたことに感謝し、鈴木さんの冥福をお祈りいたします。

池内了講演会「コロナ禍と戦争」のお知らせ

後藤仁敏

人類は戦争に勝利するために莫大な量の最新鋭の武器を準備してきた。しかし、それらは新型コロナウィルスには何ら有効でない。現在必要なことは、世界が共同してウイルス感染の拡大を抑えつつ、より深刻な被害の集中している貧困層を救うことだ。世界中の人びとが協力してウイルスとすみ分けの知恵を見いだし、戦争を克服することが求められている。今、まさに現在の地球に生きる人類全体の英知が試されていると言えよう。根岸線沿線九条の会が本会会員でもある天文学者の池内了さん講演会を開催しますので、ご案内します。



講演：池内 了さん（名古屋大学名誉教授、九条の会世話人）

「コロナ禍と戦争—今、人類の英知が試される」

歌と演奏:tomoko さん(栄区出身のシンガーソングライター)

「We Are The World」「星を見あげて」ほか

日時：2021年11月24日(水) 開演14:00～16:00

会場：磯子区民文化センター 杉田劇場ホール

アクセス：JR根岸線「新杉田」駅直結

参加費：一般 1000円、学生 500円

主催：根岸線沿線九条の会連絡会(磯子地区九条の会、森九

条の会、洋光台九条の会、港南台九条の会、栄区九条の会、大船九条の会

連絡先：後藤仁敏 (090-7175-1911)



講師紹介：池内 了（いけうち さとる）さん 専門は宇宙論、科学技術社会論。名古屋大学名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授。世界平和アピール七人委員会委員、九条の会世話人として、科学者の立場から平和を呼びかけている。

1944年、兵庫県姫路市に生まれる。1967年、京都大学理学部卒業、1972年、同学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程単位取得満期退学、京都大学理学部助手。1975年、「銀河の構造と進化」の研究で、理学博士（京都大学）。1977年、北海道大学理学部助教授。1984年、東京大学東京天文台助教授。1988年、国立天文台理論天文学研究系教授。1992年、大阪大学理学部宇宙地球科学科教授。1995年、大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授。1997年、名古屋大学大学院理学研究科教授。2006年、総合研究大学院大学先導科学研究科教授、学長補佐。2007年、同学理事・葉山高等研究センターセンター長。

『お父さんが話してくれた宇宙の歴史（全4冊）』（岩波書店）で産経児童出版文化JR賞と日本科学読物賞を、『科学の考え方・学び方』（岩波ジュニア新書）で科学出版賞（講談社）と産経児童出版文化賞推薦を、『科学者は、なぜ軍事研究に手を染めてはいけないか』（みすず書房）で毎日出版文化賞特別賞をそれぞれ受賞。そのほかの著書に、『科学者と戦争』（岩波新書）、『科学者と軍事研究』（岩波新書）、『なぜ科学を学ぶのか』（ちくまプリマー新書）、『ふだん着の寺田寅彦』（平凡社）、『寺田寅彦と現代 新装版』（みすず書房）、『宇宙研究のつれづれに』（青土社）などがある。

行事案内

★10月21日(木) 18:30～20:30 第48回憲法学習会 講師：吉田 裕さん（一橋大学名誉教授） 演題：アジア・太平洋戦争の現実と日本人の歴史認識 会場：全国教育文化会館7階大会議室（有楽町線「麹町」下車2分） 参加費 500円（どなたでも参加できます） 主催：私学九条の会・東京 連絡先：03-3230-4091（東京私教連）

★10月22日(金) 14:00～17:00 『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会 かながわ県民センター711号室、事務局から初めての方も市民自治に関心のあるからは是非お越し下さい、参加費 300円

★10月22日(日) 14:00～ 自由法曹団創立100周年記念のつどい 会場：日本教育会館一つ橋ホール zoom併用 記念講演：田中優子（法政大学名誉教授）

★10月23日(土) 10:00～12:00 港南台9条の会10月例会：教育と憲法をテーマにした戦後教育の流れを追う 会場：港南台地区センター和室（港南台駅徒歩10分） 主催：港南台9条の会 連絡先：045-832-8070（成田）

★10月23日(土) 13:00～15:00 さようなら原発10.23オンライン集会+シンポジウム 会場：全電通労働会館ホール（定員220名） 第1部集会 主催挨拶：鎌田慧さん、訴え：フクシマから（福島原発刑事告訴裁判、避難者の現状と課題）、東海第二原発差し止め裁判、エネルギー基本計画の問題点、気候危機と脱原発 第2部シンポジウム 「問題だらけ！トリチウム汚染水の海洋放出（仮題） パネラー：後藤政志さん（元原発技術者）、佐藤知良さん（いわき市議）、ほか 主催：「さようなら原発」一千万署名市民の会 協力：総がかり行動実行委員会 連絡先：さようなら原発1000万人アクション事務局（03-5289-8224）

★10月23日(土) 13:00～16:00 ヒロシマ連続講座第121回 シベリア抑留～耐え忍んだ3年 お話：西倉勝さん（シベリア抑留体験者、98歳の証言） with 有光健さん（シベリア抑留支援・記録センター） 場所：

- 男女共同参画推進センター（新宿区、都営新宿線曙橋A4出口徒歩3分） 資料代；1,000円 事前に申込み（名前とお電話番号をお知らせください） 申込先アドレス：qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp 定員30人程度企画「ヒロシマ連続講座」（竹内）
- ★10月23日(土)13:30～ 第18回「非行」「子どもの問題」を考える親たちのつどい 会場：青少年交流・活動スペース第2研修室（地下鉄桜木町駅の上のビル・ピオシティ6階） 講演：関茂樹（自立援助ホームNEXTホーム長）「当事者として、支援者として」 分散会 資料代500円 主催：かながわ「非行」と向き合う親たちの会（道草の会） 問合せ：090-8313-2358（上田さん）
- ★10月23日(土)14:00～16:00 第4回コロナ問題連続学習会 講演：コロナ禍2年目の学校と子どもたち 講師：工藤芳弘さん（元東京都教職員組合委員長） オンライン開催 参加申込みフォーラム：<https://forms.gle/7v8skhp6Ri1NPhKK8> 主催：日本科学者会議東京支部（03-3811-8281）
- ★10月22日(金)18:00～20:30 郷原信郎の緊急講演 in かながわ13区 演題：甘利明氏の『説明責任』、神奈川13区有権者に期待する 会場：大和イコーナホール（小田急江ノ島線の高座渋谷駅西口下車2分） 費用：カンパ頂ければ幸い 予約不要 100人限り 主催：かながわ13区4市共同市民の会
- ★10月24日(日)13:00～ いっくの会設立4周年のつどい 会場：磯子公会堂（JR磯子駅徒歩5分） 資料代800円 記念講演：海渡雄一さん（弁護士）「菅政権で進んだ監視社会化、デジタル監視法、デジタル庁と土地規制法を中心に」 オープニングセレモニー「gospel音楽；星久美子さん 挨拶：篠原豪氏（立憲民主党衆議院議員） 各野党から挨拶：立憲民主党、日本共産党、社会民主党、新社会党、緑の党グリーンズジャパン 2020年度の活動報告ならびに今後の活動方針 主催：いっくの会（神奈川1区市民連絡会） 連絡先：吉田（090-2542-0413）、丸茂（090-1509-4843）
- ★10月24日(日)13:00～15:00 第84回草の根歯科勉強会 数学書として憲法を読む 会場：梨の木カフェ（会場は10名まで、水道橋駅徒歩3分） zoom併用 要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp 講師：秋葉忠利氏（前広島市長） zoom <https://us06web.zoom.us/j/91014896410?pwd=U010SmZnOW02b1VUek0zQkQyQWdjUT09> ミーティングID：91014896410 パスコード：244962 主催：草の根歯科研究会
- ★10月24日(日)13:30～16:00 そもそも命はだれのもの 会場：新宿歴史博物館講堂 東京都新宿区四谷三栄町12-16 予約不要 先着55名 参加費：1000円 講師：島薗進さん（上智大学グリーフケア研究所所長、東京大学名誉教授）、天笠啓祐さん（ジャーナリスト）、アーサー・ビナードさん（詩人） 問合せ先：E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 携帯電話：090-2669-0413 神野玲子 主催：ゲノム問題検討会議（HP：<https://www.gnomeke06.net/>）
- ★10月24日(日)13:30～ 南西諸島での大軍事演習に反対する！～今こそ反戦・反改憲の声を～ 会場：文京シビックセンター4F シルバーホール（後楽園駅） 講演：「中国脅威論を口実とした南西諸島軍拡のねらい」纏纏厚さん（明治大学特任教授） 資料代 500円 防衛省デモ：18時 市ヶ谷 外濠公園集合（市ヶ谷駅徒歩1分）18時30分 出発 主催 大軍拡と基地強化にNO！アクション2021
- ★10月24日(日)13:30～ 学校に自由と人権を！10.24集会 会場：全電通会館ホール（JR御茶ノ水駅徒歩5分） 資料代500円 講演：中野晃一さん（政治学者、上智大学教授）「戦後の誓いとしての日本国憲法－自由と人権のために」 ライブ：よしだよしこさん（ヴォーカル、ギター）、廣瀬波子さん（サックス、アイリッシュホイッスル） 特別報告：東京『君が代』裁判五次訴訟原告団より 主催：「日の丸・君が代」不当処分撤回を求める被処分者の会（090-5327-8318、近藤）など
- ★10月24日(日)14:00～15:30 オンライン学習会かわさき開催のウェビナー講演会 渡辺治さん「日米軍事同盟と改憲策動の新局面～そのゆくえ」 講演者：渡辺治さん（一橋大学名誉教授） 参加費無料 https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Z5qTswTXQ36If71Y3Lv7wg 連絡担当：前田（mahamagga-biz@yahoo.co.jp）
- ★10月27日(木)13:30～16:30 講演「コロナ禍・気候危機と現代資本主義」 会場：藤沢市民会館第2会議室（藤沢駅徒歩10分） 講師：宮川彰（首都大学東京名誉教授） 無料 主催：湘南学習会議 連絡先：090-5444-6669（大益さん）
- ★10月27日(水)18:00～21:00 オルタナティブな日本をめざして（第66回）：「電力システム改革と脱原発」新ちょぼゼミ 講師：吉田明子さん（国際環境NGO FoE Japan 気候変動・エネルギー政策担当） 会場：スペースたんぽぽ（高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口5分予約の受付窓口） 申込み：たんぽぽ舎（TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797）
- ★10月29日(金)13:30～15:45 中国映画を観る会「ジャスミンの花開く（茉莉花開）」 会場：戸塚区役所3階多目的スペース（戸塚駅徒歩1分） 資料代500円 主催：日中友好協会横浜西南支部 問合せ：大幡（080-5081-6522）
- ★10月30日(土)14:00～16:00 JCJオンライン講演会「メディアの地殻変動－ゼロベースで新たなジャーナリズムを（仮題）」 講師：神保哲生氏（ジャーナリスト） 司会：砂川浩慶氏（立教大学教授） 参加費 500円 Peatix で参加費をお支払い申込みください。申込みはネットで、<https://chikakuhendo.peatix.com/>から入ってください。JCJ会員は無料、onlinejcj20@gmail.com にメールで申し込んでください。主催：日本ジャーナリスト会議（03-6272-9781）
- ★10月31日(日)13:00～16:00 江戸の名残と軍部の痕跡をたどって東京を歩く第6回 集合：地下鉄副都心線西早稲田駅出口3 早大理工学部口の地上出口 案内：東海林次男（東京都歴史教育者協議会会長） 陸軍射撃場跡/陸軍幼年学校/戸山学校跡/箱根山/陸軍軍医学校跡（行幸碑・戸山人骨納骨施設）/空襲慰靈碑 雨天実施 15人まで 参加費 800円 企画：ヒロシマ連続講座 要事前申込み 申込先：qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp（竹内）
- ★11月2日(火)～8日(月)10:00～17:00（初日は13時から、最終日は15時まで） 第9回いき生き作品展 会場：泉区民文化センター（相鉄線いずみ中央駅徒歩1分） 絵画、布画、書、絵手紙、はがき絵、写真、手芸、新聞ちぎり絵など。主催：ELU・泉年金者会 連絡先：090-2913-0071（松下）

- ★11月4日(木)18:00～20:00 11.4 歴史教育を考える市民の会講演集会＆総会 帝国主義諸国の軍隊と性
－日本軍慰安婦制度の世界的位置を考える 会場：神奈川県地域労働文化会館 2FAB 会議室 第一部：総会、第二部：記念講演(18時15分～) 林博史さん(関東学院大学経済学部教授)「帝国主義諸国の軍隊と性」 資料代500円 主催：かながわ歴史教育を考える市民の会 連絡先：090-8818-1431(高梨)
- ★11月5日(金)18:30～21:00 2021憲法を考える11.3 県民集会 会場：かながわ労働プラザ(JR石川町駅下車3分) 講演：飯島滋明さん(名古屋学院大学) 資料代：500円(当日払い) 申込み：Eメールにて、「お名前」「日中の連絡先」を記載の上、申し込みください(先着130人) kanagawa.kenpo.forum@gmail.com 申し込みの無い方は、入場できません！ 締め切り：11月2日(火) 主催：かながわ憲法フォーラム 連絡先：鈴木・飯田(045-231-2479)
- ★11月6日(土)9:45～ 神奈川ウォーキングクラブ例会「秋の海辺をゆっくり歩きシーパラダイスへ」 集合：9時45分に京急金沢八景駅集合 約10km 申込み：080-5678-3961(平嶋さん)
- ★11月6日(土)10:00～17:30 第9回人権シンポinかながわ 会場：神奈川県弁護士会館4・5階(みなとみらい線日本大通り駅徒歩3分) およびZOOMウェビナー 参加無料・要予約 10:00～12:30 会場のみ 映画「免田栄 獄中の生」上映、講演「えん罪と死刑について考える」講師：鴨志田祐美さん(弁護士) 事前申込み先着50名 10:30～12:00 ZOOM開催「コロナ以後の地域社会と生活保障 ベーシックインカムを越えて」講師：宮本太郎(8中央大学法学部教授) 13:00～15:00 ZOOM開催「コロナ禍の子どもたち～子どもたちの現状と支援現場の視点から」講師・出演：増沢高さん(子どもの虹情報研修センター研究部長)、出演：児童相談所関係者、学校教職員、地域の子ども支援者 13:30～14:30 人権賞贈呈式 15:00～17:30 ZOOM開催「重要土地規制法 法の発動を許さないために」講師：馬奈木巖太郎弁護士 15:30～17:30 ZOOM開催「精神科病院における身体拘束を考える」講師：齋藤正彦先生(東京都立松沢病院名誉院長)、長谷川利夫先生(杏林大学保健学部教授) 主催：神奈川県弁護士会 申込み方法：往復葉書申込：会場参加者のみ 往復葉書での申込み 往信面に「映画上映会・講演会への参加希望」と記載し、住所・氏名・連絡先(電話番号)を書いてください。返信面の宛名には申込者の住所・氏名を書いてください。オンライン申込み：ZOOM参加者のみ 下記のURLからアクセスし、11月4日までに申し込んでください。 <https://www.kanaben.or.jp/news/event/2021/sympo2021.html>
- ★11月9日(火)①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ③16:00～17:30 ④19:00～20:20 上映会「ヒロシマへの誓い－サーロ一節子とともに」 会場：瀬谷公会堂(相鉄線三ツ境駅徒歩6分) 前売り一般・大学生・シニア900円、高校生以下700円、当日999円 主催：実行委員会 問合せ：090-3685-8035(二谷さん)
- ★11月13日(土)13:30～ 本牧・山手九条の会「結成16周年のつどい」 会場：横浜上野町教会(JR山手駅徒歩11分) 記念講演：川上詩郎(弁護士)「戦争と人間の尊厳～憲法9条の源流を探る」 資料代500円、高校生以下無料 主催：本牧・山手九条の会 問合せ：045-741-3195(建設横浜みなと支部気付)
- ★11月13日(土)13:30～16:00 Zoom 講演会：「ジェンダー視点からオリンピックを問い合わせる」 講師：來田享子(中京大学スポーツ科学部教授/日本スポーツとジェンダー学会会長/東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事) Zoom 申込み先：yhadachi@khe.biglobe.ne.jp TEL 052-411-2737 締め切り：11月12日17:00 主催：「九条の会」愛知・大学人の会
- ★11月13日(土)13:30～16:00 全10回研究会・マルクスの理論と現代 A日程(40歳までの若手研究会)
第3回ゼロ成長・ゼロ金利の時代ー利潤率の傾向的低下法則 会場：関東学院大学関内メディアセンター(神奈川新聞社屋8階、約20名) 参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円 講師：渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 主催・申込先：NPO法人かながわ総研に電話かメールで 電話：045-662-9839、メール：npo-soken@blue.ocn.ne.jp
- ★11月13日(土)14:00～17:00 オルタナティブな日本をめざして(第67回)「デジタル政策の陥穰と、その危険性：自治・民主主義の観点から」新ちょぼゼミ 要予約 講師：内田聖子さん(NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表) 会場：スペースたんぽぽ(高橋セーフビル1階 JR水道橋駅西口から5分) 参加費(資料代含む)：800円(学生400円) 予約先：たんぽぽ舎(TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797)
- ★11月14日(日)10:00～15:30 第67回理論の学習会のお知らせ 10時～12時 講演1：友寄英隆氏(労働者教育協会理事)「コロナ・パンデミックと今後の日本社会」、13時30分～15時30分 講演2：樋口英明氏(元福井地裁裁判長)「私が大飯原発を止めた理由」開催は、Zoomにて行います。申込み：下記のurlから、参加申し込みフォームに入り、必要事項を入力して下さい。最後に送信ボタンをクリックして申し込み完了です。締め切りは11月6日(土)。 <https://forms.gle/hs5yqq2Wge28A4oEA> 参加申込者には11月10日までにメールでZoomのurlと資料を送ります。主催：地学団体研究会
- ★11月16日(火)15:00～16:00 JSA神奈川支部幹事会 「日本の科学者」「支部通信」発送作業 会場：かながわ総研会議室(横浜市中区不老町2-8-8 不二ビル6階604号室、045-662-9839) 交通：JR関内駅南口または地下鉄伊勢佐木長者町徒歩5分、横浜文化体育館北側連絡先：後藤仁敏(電話・Fax:045-894-1052、携帯：090-7175-1911、E-mail:goto(at)kd5.so-net.ne.jp)
- ★11月20日(土)10:00～16:00 2021年日本平和大会「ストップ！戦争する国づくり・大軍拡 つくろう！憲法いかす政治を」 オンライン開催 10時～12時15分 全体集会 14時～16時 特別集会：①国際シンポ「軍事基地も米軍基地もないアジアは可能か」、②大軍拡・基地強化反対運動の交流 全体集会と特別集会の両方に参加：一般1500円、学生など750円、どちらかのみの参加：一般1000円、学生など500円 主催：実行委員会 問合せ：03-3451-6377(日本平和委員会)
- ★11月20日(土)13:30～16:00 全10回研究会・マルクスの理論と現代 B日程(年齢不問) 第3回ゼロ成長・ゼロ金利の時代ー利潤率の傾向的低下法則 会場：関東学院大学関内メディアセンター(神奈川新聞社屋8階、約20名) 参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円、通し参加でない参加者は1回につき1000円、30歳未満は500円 講師：渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 主催・申込先：NPO法人かながわ総研に電話かメールで 電話：045-662-9839、メール：npo-soken@blue.ocn.ne.jp
- ★11月20日(土)14:00～16:30 第9回鎌倉憲法学校 改憲策動の新局面～私たち市民はいかに立ち向かうか 講師：渡辺治(政治学者、一橋大学名誉教授) 会場：鎌倉芸術館集会室3階(定員150人、IR大船駅

東口徒歩10分) 入場料500円 20歳以下無料 申込先:kamakura9jo@gmail.com、氏名、電話、予約枚数記入 Fax 0467-60-5410、氏名、電話、Fax、予約枚数 店頭:島森書店、たらば書房、鎌倉芸術館 主催:鎌倉九条の会

- ★11月23日(火・祝) ①10:00~12:30、②14:00~16:00 神奈川七沢多喜二祭・秋のつどい映画上映「いのちの記憶ヒューマンドキュメンタリー 小林多喜二・29年の人生」会場:タウンニュースホール(小田急線東海大学前駅南口徒歩1分) 料金500円 主催:実行委員会 問合せ:鷺崎澄子(090-6000-8877)
- ★11月24日(水) 14:00~16:00 池内了さん講演会「コロナ禍と戦争—今、人類の英知が試される」会場:磯子区民文化センター杉田劇場ホール(JR新杉田駅直結) 参加費:一般1000円、学生500円 講師:池内了さん(名古屋大学名誉教授、九条の会会話人) 歌と演奏:tomokoさん(栄区出身のシンガーソングライター)「We Are The World」「星を見あげて」ほか 主催:根岸線沿線九条の会連絡会(磯子地区九条の会、森九条の会、洋光台九条の会、港南台九条の会、栄区九条の会、大船九条の会 連絡先:090-7175-1911(後藤)
- ★11月27日(土)~11月28日(日) 第21回東京科学シンポジウム テーマ:コロナ危機の時代を生きる—科学・人権・市民的連帯 開催方式:オンライン(zoomを使用) 主催:日本科学者会議東京支部 特別報告:27日午後 稲葉剛さん(一般社団法人つくりい東京ファン代表理事・認定NPO法人ビッグイシュー基金共同代表・立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科客員教授)「コロナ禍における生活困窮者支援の現場から」 分科会:27日午前、28日午前・午後 連絡先:日本科学者会議東京支部第21回東京科学シンポジウム実行委員会(〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階 Tel/Fax:03-3811-8281、e-mail:21st-kagaku(at)jsa-tokyo.jp)
- ★11月28日(日) 13:30~16:30 神奈川県平和委員会第63回定期大会 会場:横浜平和と労働会館4階(桜木町駅徒歩5分) 13時30分~大会大会、15時30分~記念講演:永山茂樹(県平和委員会代表委員、東海大学教授)「総選挙の結果とこれからの憲法闘争」 主催:神奈川県平和委員会 問合せ:045-231-6577(菊谷節夫)
- ★11月29日(月) 18:50~21:00 9条かながわ大集会2021n横浜「今こそ憲法でいのちと暮らしを守ろうー新しい政権のもとでの憲法9条」会場:関内ホール(関内駅徒歩5分) 参加費999円 講師:斎藤美奈子さん(文芸評論家)「放置国家にサヨナラをー安倍・菅政権のコロナ対策」、岡田尚(弁護士、九条かながわの会事務局代表)「ヨコハマから日本を変えるー横浜市長選の実践から」 パフォーマンス:歌う9条の会バンド、横浜憲法劇 主催:九条かながわの会連 連絡先:090-7175-1911(後藤)
- ★11月30日(火) 18:30~ 第12回芸人9条の会(東京都) 出演:松元ヒロ、神田香識、オオタスセリ、古今亭菊千代、岡大介、おしどり 完全前売りまたは予約制(古今亭菊千代まで、090-3106-5585、200名様限定) 木戸錢2000円 会場:豊洲シビックセンターホール5F(江東区豊洲2-2-18。東京メトロ豊洲駅7番出口徒歩1分、ゆりかもめ豊洲駅改札フロア直結) 主催:芸人9条の会 連絡先:chiyo.chan@nifty.com
- ★12月4日(土) 13:00~16:00 特別集中講座「パンデミックと731部隊」加藤哲郎さん(一橋大学名誉教授) 第4回講座「731部隊と100部隊一人獣共通の感染症への線総動員」「満州における軍馬の鼻疽と関東軍」(文理閣)の著者である小河孝さん(日本獣医生命科学大学教授)とのジョイント講座 場所:愛恵ビル3階(山手線駒込駅東口徒歩2分) 定員先着30人 資料代1000円 企画:ヒロシマ連続講座 申込先:qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp(竹内)
- ★12月4日(土) 13:30~16:30 神奈川革新懇第42回総会 会場:神商連会館4階ホール(東神奈川駅徒歩5分) 来賓挨拶:立憲民主党、日本共産党、社会民主党、ほか 情勢報告:田母神悟(日本共産党県委員長) 主催:神奈川革新懇 連絡先:080-5931-8179(齊田さん)
- ★12月9日(木) 15:00~ かながわ安保法制違憲訴訟 口頭弁論(最終審理) 場所:横浜地裁 終了後、原告団総会の予定 主催:かながわ安保法制違憲訴訟の会 連絡先:045-651-2431(関守麻紀子弁護士)
- ★12月11日(土) 13:30~16:00 全10回研究会・マルクスの理論と現代 A日程(40歳までの若手研究会) 第4回エコロジーとジェンダー 会場:関東学院大学関内メディアセンター(神奈川新聞社屋8階、約20名) 参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円 講師:渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 主催・申込先:NPO法人かながわ総研に電話かメールで 電話:045-662-9839、メール:npo-soken@blue.ocn.ne.jp
- ★12月18日(土) 13:30~16:00 全10回研究会・マルクスの理論と現代 B日程(年齢不問) 第4回エコロジーとジェンダー 会場:関東学院大学関内メディアセンター(神奈川新聞社屋8階、約20名) 参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円、通し参加でない参加者は1回につき1000円、30歳未満は500円 講師:渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 主催・申込先:NPO法人かながわ総研に電話かメールで 電話:045-662-9839、メール:npo-soken@blue.ocn.ne.jp
- ★2022年1月15日(土) 13:00~16:00 特別集中講座「パンデミックと731部隊」加藤哲郎さん(一橋大学名誉教授) 第5回講座「731部隊・100部隊の戦後責任ー隠蔽・免責・復権ルートとネットワーク再建」 場所:愛恵ビル3階(山手線駒込駅東口徒歩2分) 定員先着30人 資料代1000円 企画:ヒロシマ連続講座 申込先:qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp(竹内)
- ★1月15日(土) 13:30~16:00 全10回研究会・マルクスの理論と現代 B日程(年齢不問) 第5回グローバリゼーション 会場:関東学院大学関内メディアセンター(神奈川新聞社屋8階、約20名) 参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円、通し参加でない参加者は1回につき1000円、30歳未満は500円 講師:渡辺憲正(関東学院大学名誉教授) 主催・申込先:NPO法人かながわ総研に電話かメールで 電話:045-662-9839、メール:npo-soken@blue.ocn.ne.jp

次号の原稿の募集:近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切りです。

送り先:後藤仁敏(E-mail:goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax:045-894-1052)